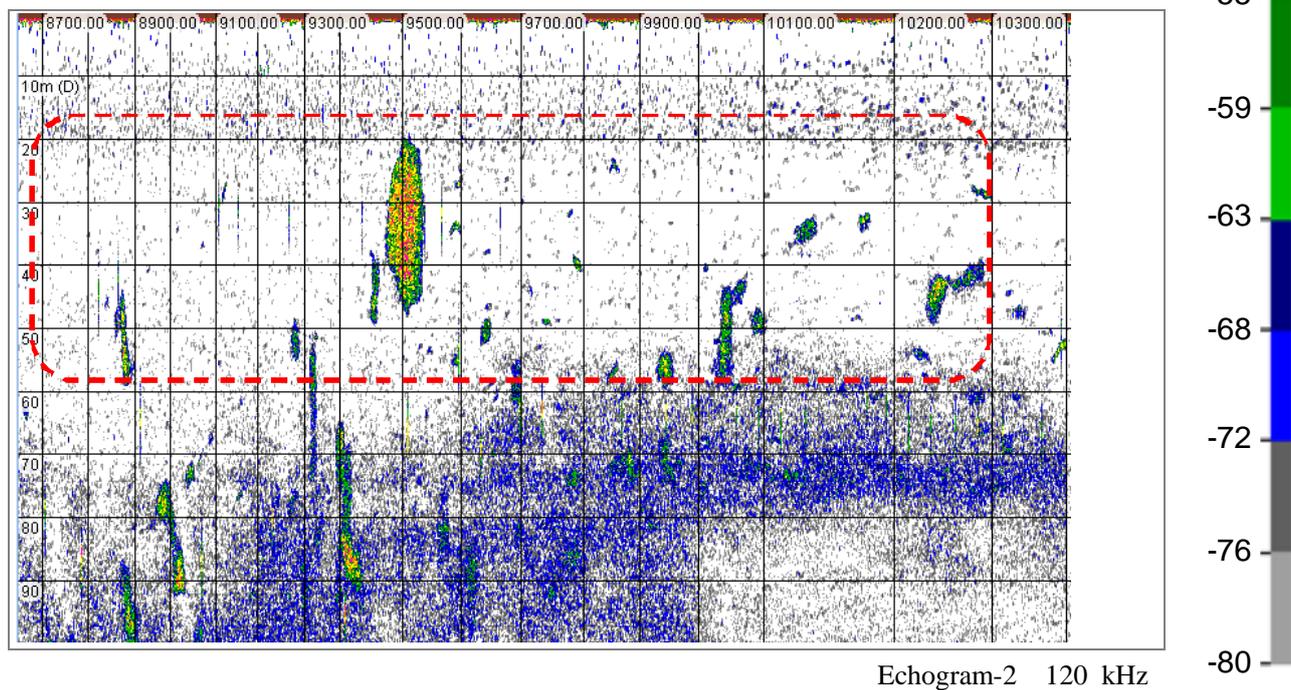
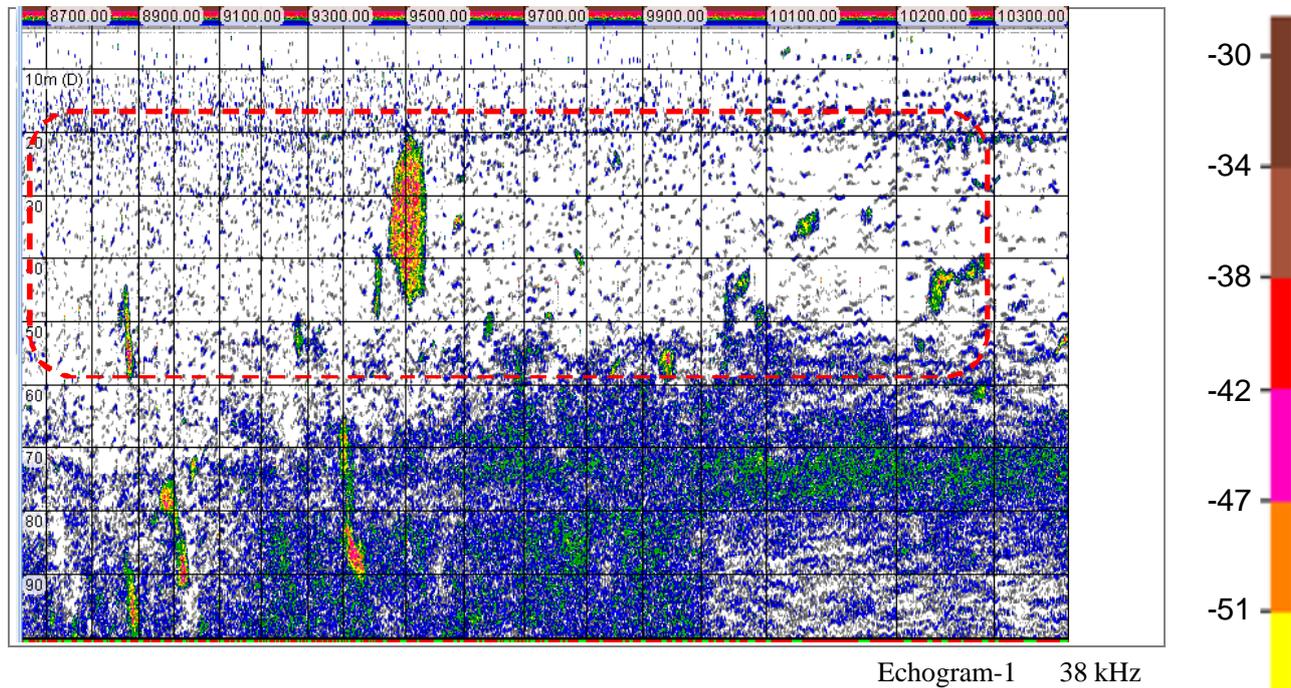


反応構成生物：カタクチイワシ (*Engraulis japonicus*)

収録日時：2002年8月8日 (昼間9:30頃)

収録海域：太平洋

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



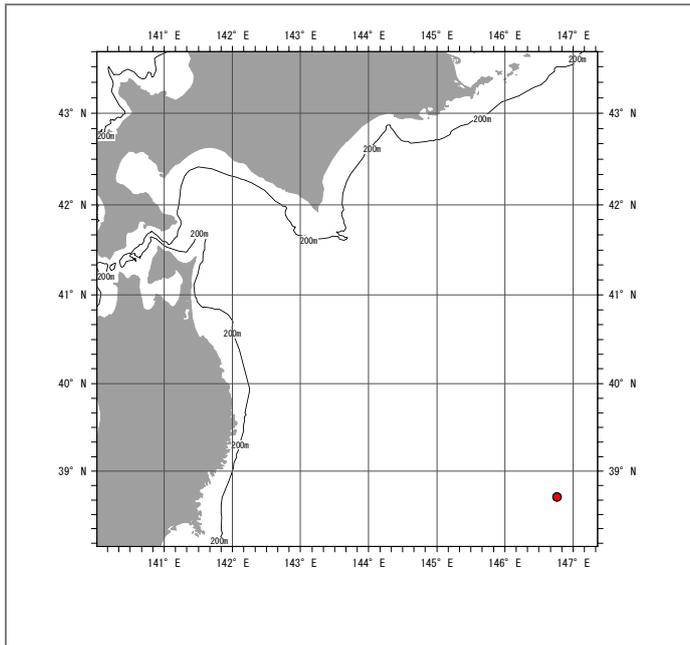
表示スケール： 縦 100 m / 横 1800 m

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

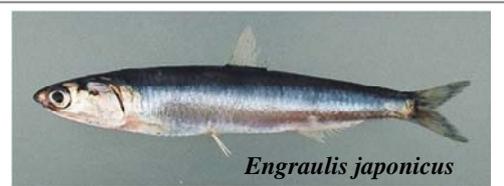
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：日本鯨類研究所 (村瀬弘人), 遠洋水産研究所 外洋資源部, 俊鷹丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



Engraulis japonicus

写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

中層トロール網によって反応をサンプリングし、カタクチイワシを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物： カタクチイワシのみ

カタクチイワシ (成魚) 平均被鱗体長： 100.8 mm (N=4) / (稚仔魚) 平均全長： 43.1 mm (N=100)

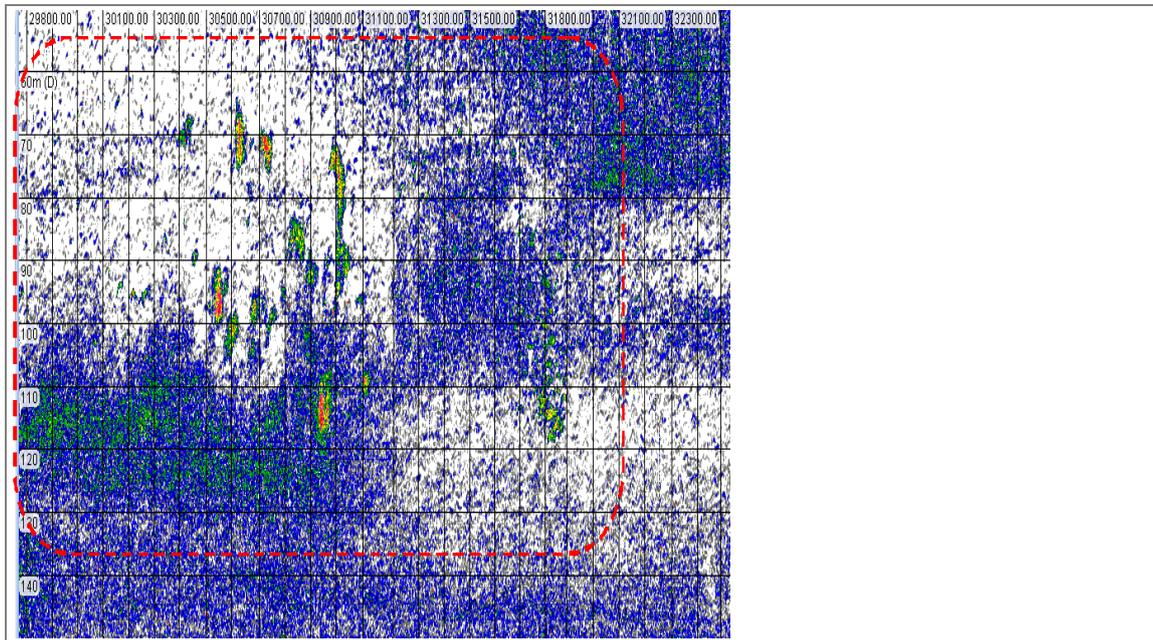
中層トロール網深度： 30~60 m, 対水速度 4 knot にて曳網。

反応構成生物：カタクチイワシ (*Engraulis japonicus*)

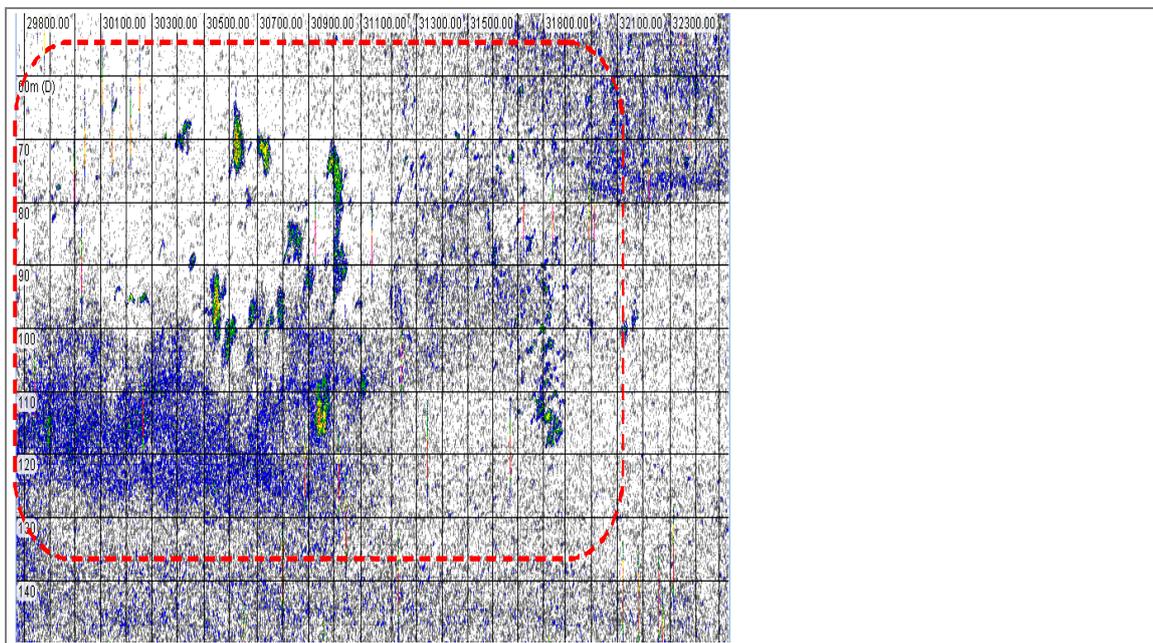
収録日時：2002年8月8日 (昼間 14:20 頃)

収録海域：太平洋

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

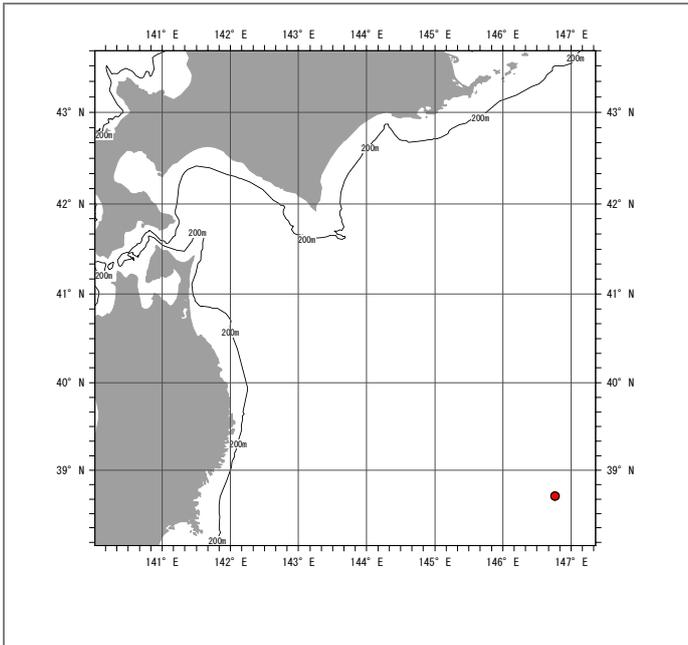
表示スケール： 縦 100 (50~150) m / 横 2700 m

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

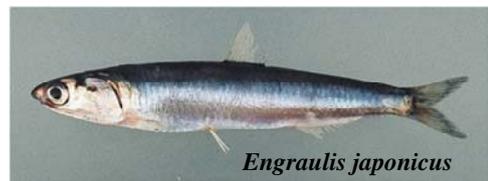
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：日本鯨類研究所 (村瀬弘人), 遠洋水産研究所 外洋資源部, 俊鷹丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



Engraulis japonicus

写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

中層トロール網によって反応をサンプリングし、カタクチイワシを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物： カタクチイワシのみ

カタクチイワシ(成魚)平均被鱗体長： 44.9 mm (N=100) / (シラス期)平均全長： 29.0 mm (N=100)

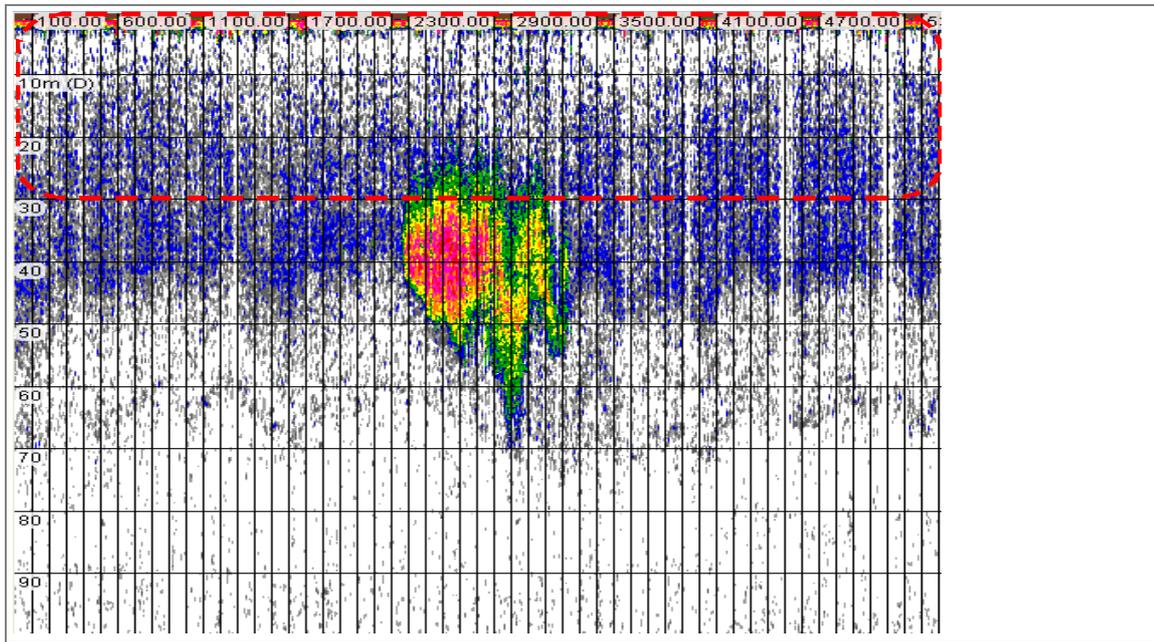
中層トロール網深度： 100~120 m, 対水速度 4 knot にて曳網。

反応構成生物：カタクチイワシ (*Engraulis japonicus*)

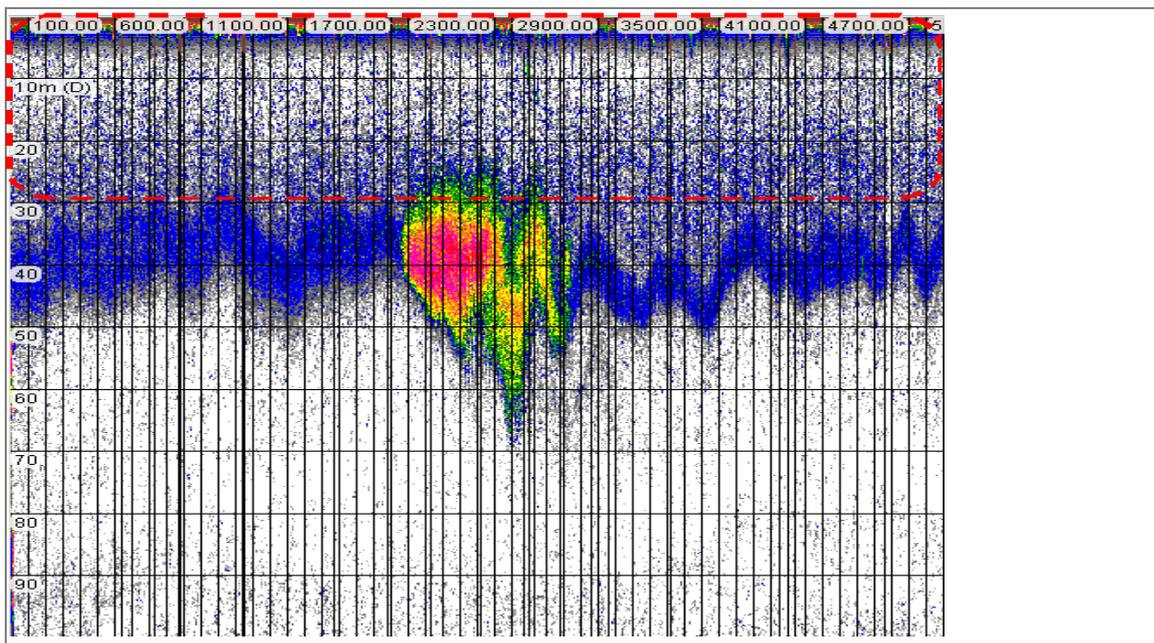
収録日時：2006年9月28日 (夜間 23:01 頃)

収録海域：太平洋，東北沖

収録機種・周波数：EK60・38 kHz / 120 kHz



Echogram-1 38 kHz



Echogram-2 120 kHz

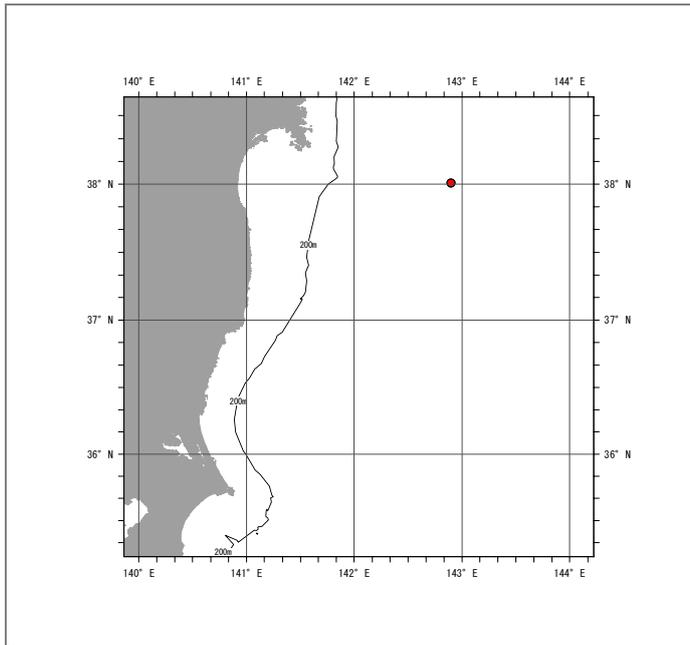
表示スケール： 縦 100 m / 横 5400 m

グリッド間隔： 縦 10 m / 横 100 m

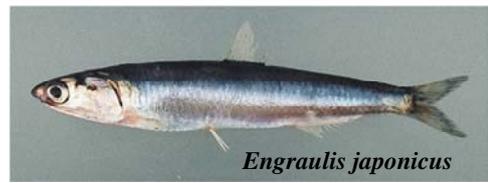
表示色・表示 S_v 範囲： EK500color ・ -80 ~ -30 dB

データ提供：中央水産研究所 資源動態研究室 (川端 淳)，北鳳丸

収録海域詳細↓



反応構成生物写真・イラスト↓



写真提供：「東北フィールド魚類図鑑」

魚種確認の有無・対象生物判別の根拠

中層トロール網によって反応をサンプリングし、カタクチイワシを確認したこと。

サンプリング詳細情報・備考

採集生物内訳： カタクチイワシ 475.01 kg (BL7~10 cm, 9 cm モード), スジイカ 27.36 kg, アカイカ 7.48 kg, ハマトビウオ 1.88 kg, ツメイカ属 0.35 kg, ムロアジ 0.1 kg, ハナビラウオ科 0.06 kg, ホシフグ 0.06 kg, フウライカマス 0.05 kg, マサバ 0.04 kg, ハダカイワシ科 0.02 kg

中層トロール網深度： 0~30 m (エコーグラム上の赤破線)